

コロナ禍を経た今の「不易流行」、 新しい公共の場のあり方を目指して

県立長野図書館では、約3年間のコロナ禍の間、皆さまに安心・安全・安定して使っていただくことを最優先としながら、段階的に感染対策を緩和したり、図書館に来ていただかなくてもできるサービスを拡充してきました。

昨年8月には、県内全ての77市町村と県が協働運営する電子書籍の貸出サービス「デジとしょ信州」と、県立長野図書館による専門書の電子書籍閲覧サービスが開始しました。利用登録を行えば、スマホやタブレット、パソコンから約2万点の電子書籍を読むことができます。

一方で、リアルな図書館の魅力アップも、さらに追及しています。この4月からの、館内の大きな変化は、以下の3点です。

1. 減らしていた座席を元に戻し、対話ができるようにしました
2. 体温計を入口の真正面から少し横にずらして、通りやすくしました
3. ロビーに電子ピアノを設置し、図書館でストリートピアノはどう作用するか実験します

これからも、県全域の皆さまと共に、だれもが自由に「知る」「学ぶ」ことができる図書館づくりに取り組んでまいります。

館長
ごから
挨拶の



2023年4月1日
県立長野図書館長
森 いづみ